



ご案内

●開館時間

9:30～17:00 ※最終入館は閉館30分前まで

●休館日

月曜日(ただし月曜が祝日または休日の場合は開館し、翌平日休館)、
年末年始および展示替期間

※その他諸事情により臨時に休館する場合があります。

●入館料

一般 1,000円、大学生 500円

※その他、図録付きチケット等もあります。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。
※障がい者手帳をお持ちの方とその介護者各1名は無料。入館の際に障がい者手帳
などをご提示ください。

※高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料。入館の際に年齢が確認
できる証明書をご提示ください。

ご来館前にオンラインによる事前予約をお願いします。

日時指定予約制 無料入館の方も予約が必要です。

【要ウェブ予約】 ※ただし、障がい者手帳等をお持ちのご本人およびその介助者
各1名のご予約は不要です。

入館方法、開館時間、休館日、展示等の最新情報は
皇居三の丸尚蔵館ウェブサイトをご確認ください。

<https://shozokan.nich.go.jp/>



〒100-0001 東京都千代田区千代田1-8(皇居東御苑内)

お問い合わせ 050-5541-8600(ハローダイヤル)



●皇居三の丸尚蔵館までの所要時間

大手門から入門 ▶▶ 地下鉄各線 大手町駅 C13a 出口から徒歩5分
JR東京駅 丸の内北口 から徒歩15分

平川門から入門 ▶▶ 地下鉄東西線竹橋駅 1a 出口から徒歩約10分
北桔橋門から入門 ▶▶ 地下鉄東西線竹橋駅 1a 出口から徒歩約15分

※平川門・北桔橋門からの入門は金曜日閉門、その他皇居東御苑の公開日時に
準じます。

※入門にあたり手荷物検査が行われます。ご来館の際にはお時間に余裕をもって
お越しください。

表紙:《源氏物語図屏風》(右隻・部分) 狩野探幽 江戸時代、寛永19年(1642)

2023. 10. ©The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan



The Museum of the Imperial Collections,
Sannomaru Shozokan

皇居三の丸尚蔵館

日本語



皇居三の丸尚蔵館について

三の丸尚蔵館は、平成元年(1989)に上皇陛下と香淳皇后により、皇室に代々受け継がれた美術品が国に寄贈されたことを機に、その保存と研究、公開を目的として、平成5年(1993)11月に皇居東御苑内に開館しました。

館名の「尚蔵」は、古代律令制において蔵司の長官「くらのかみ」をさし、大切に保管するという意味を持ちます。また旧江戸城三の丸の地に建設されたことに由来して「三の丸尚蔵館」と名付けられました。

これまで平成8年(1996)には旧秩父宮家からのご遺贈品、同13年(2001)には香淳皇后のご遺品、同17年(2005)には旧高松宮家からのご遺贈品、さらに同26年(2014)には三笠宮家からのご寄贈品が加わり、それらの品々を収蔵し、調査研究を行ってきました。

令和元年(2019)から、収蔵庫と展示室を拡充し、より充実した活動を行うために、新たな施設の建設が進められています。令和5年(2023)10月には管理・運営が宮内庁から独立行政法人国立文化財機構へ移管され、同年11月3日に「皇居三の丸尚蔵館」の名称で一部開館し、令和8年(2026)に全館開館を予定しています。

今後も、皇室から受け継いだ文化財を次の世代へ継承し、皇室と文化の関わりを紹介する拠点として、より多くの方々に親しんでもらえるよう、力を注いでいきます。



令和8年(2026) 全館開館イメージ図

右:《旭日鳳凰図》(部分) 伊藤若冲 江戸時代、宝暦5年(1755)



ナニヲおほはる一子を言中法
合南松松文更齋流秋林大運米は
しよけいんげんかきしんしんこれ
しんひんげんかきしんしんこれ
われをもしんげんかきしんしんこれ
れいりひんげんかきしんしんこれ
あふらつあひらひんげんかきしんしんこれ
とひんげんかきしんしんこれ
竹
既権満協人身月子猷者実鳥栖煙き香
音助兵奈軍王子猷裁楯此君唐太子

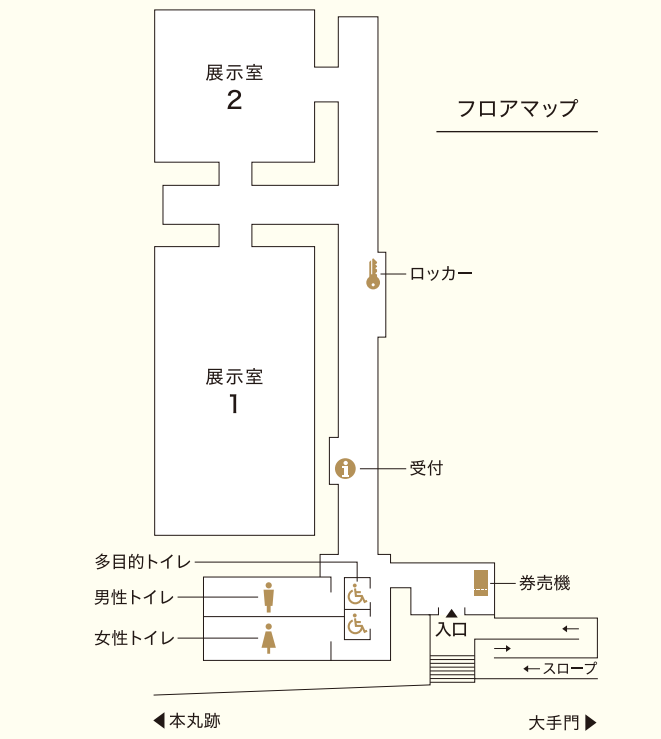


- 1 《西行物語絵巻》(部分) 尾形光琳 江戸時代(18世紀)
- 2 《粘葉本和漢朗詠集》(部分) 伝藤原行成 平安時代(11世紀)
- 3 《猿置物》高村光雲 大正12年(1923)
- 4 国宝《春日権現験記絵》(部分) 高階隆兼 鎌倉時代、延慶2年(1309)頃
- 5 国宝《唐獅子図屏風》(右隻) 狩野永徳 桃山時代(16世紀)
- 6 《鳶細道時絵文台・規箱》桃山時代(16世紀)
- 7 重要文化財《蘭陵王置物》海野勝珉 明治23年(1890)
- 8 《浜松図屏風》海北友松 桃山時代、慶長10年(1605)

皇居三の丸尚蔵館の収蔵品

収蔵品の内容は、書、絵画、工芸品をはじめ、さまざまな分野にわたります。時代も古代から近現代まで幅広く、各時代を代表する名品が多く含まれています。収蔵品の由来は近世まで京都御所に伝えられた作品、近代以降に御下命による制作や買い上げ、献上など、様々な経緯で皇室にもたらされたものや、皇室と諸外国との交流による品々など、実に多種多彩です。

主な収蔵品には、美術史的、歴史的に高い評価を得ている平安時代の書の逸品《粘葉本和漢朗詠集》、《金沢本万葉集》や、鎌倉時代の絵巻《春日権現験記絵》、《蒙古襲来絵詞》、また近世絵画を代表する狩野永徳筆《唐獅子図屏風》、狩野探幽筆《源氏物語図屏風》、伊藤若冲筆《動植綵絵》などの傑作があります。さらに、よこやまたいかん たけうちせいほう なみかわやすゆき うんのしょうみん たかむらこうらん 横山大観や竹内栖鳳、並河靖之、海野勝珉、高村光雲など、近代の著名な作家による作品があります。



- お客様へのお願い
- ◎ 展示品および展示ケースに触れないでください。
 - ◎ 展示室内での携帯電話などによる通話はご遠慮ください。
 - ◎ 皇居内は禁煙です。
 - ◎ 館内では鉛筆以外の筆記用具のご使用はご遠慮ください。
 - ◎ 退館後の再入館は不可となります。
 - ◎ 展示室内での飲食はご遠慮ください。